

平成 28 年度版

下妻市の農業



「味豊か、甘味幸せ、下妻の梨」

下 妻 市

2．農業の特徴

水稻を軸に、果樹（梨等）・野菜（スイカ、白菜等）・畜産（養豚・肉用牛等）を組み合わせた複合経営が主体となっている。主に、北部地区は、茨城県青果物銘柄産地の指定を受けた「梨」、市の南西部は、スイカ、白菜等の野菜の栽培が盛んであり、南東部地区では、カントリーエレベーターを核とした土地利用型農業が展開されている。

養豚は、かつて日本一の飼養頭数であり、現在でも約4万頭が飼養されている。近年は、環境対策として、ふん尿処理施設の導入並びに、悪臭・ハエ等の対策に取り組み、「住農混在化」の進んだ地域の市民生活に配慮した畜産経営の確立を目指している。

食への「安全・安心」が各方面から期待されている今日、自然循環型農業（食品残渣を堆肥化）が注目されており、実践する団体が活躍している。一方、地元で生産された農産物を利用した地ビール・納豆・ハム・ソーセージ等の農産加工品の開発に取り組むとともに、「道の駅」や「やすらぎの里」の農産物直売所への出荷により「地産地消」を推進している。



梨・幸水

スイカ

3. 土地の概況

単位：ha

総土地面積	耕地面積			
	田	畑	樹園地	計
8,088	2,417	533	152	3,102

資料：2015年 農林業センサス

4. 農家戸数の概況

単位：人・戸

	2010年			2015年		
	農家世帯員数	7,424			5,260	
総農家数	1,685			1,278		
専兼業農家数	専業	1種兼業	2種兼業	専業	1種兼業	2種兼業
	250	281	1,154	278	178	822

資料：2010,2015年 農林業センサス。農家世帯員数、総農家数は、自給的農家は含まない

5. 年齢別の農業経営者数

単位：歳・人

区分	14以下	15～19	30～39	40～49	50～59	60～64	65以上	計
農業経営者数		3	14	71	234	265	691	1,278

資料：2015年 農林業センサス

6. 農業経営基盤強化促進法による利用権設定の概況

借り手	平成27年度		平成28年4月1日現在 設定面積
	新規	更新	
365人	304.9ha	75.9ha	1,080.0ha

7 . 生産調整の概況

【生産調整の実施状況】

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
生産目標数量	11,318 t	11,049 t	10,928 t
生産実績数量	10,897 t	10,778 t	10,262 t
作付率	96.2%	97.5%	93.9%

【ブロックローテーション面積推移】

年度	高道祖	新堀	木田川	騰波ノ江	大宝	大宝沼	合計
25年度	61.09ha	8.80ha	15.79ha	95.11ha	21.88ha	27.09ha	229.76ha
26年度	60.90ha	9.49ha	15.29ha	93.44ha	34.80ha	27.71ha	241.63ha
27年度	72.83ha	9.20ha	19.38ha	100.52ha	30.89ha	33.09ha	265.91ha

昭和 62 年に県営ほ場整備事業高道祖地区の事業完了に伴い、市内で初めてブロックローテーションによる集団転作が実施された。以降、平成 2 年度に新堀地区、平成 13 年度に木田川地区と騰波ノ江地区、平成 20 年度よりは大宝地区で実施されている。転作作物は 1 作目に小麦、2 作目に大豆もしくはそばが生産されている。

平成 23 年度より実施した大宝沼地区では畜産業者と連携し飼料用米を作付している。



8 . 認定農業者の概況

【認定農業者の地区別営農部門別一覧表】

平成28年11月1日現在
単位：経営体（ ）は内法人数

地区名 営農部門	下 妻	大 宝	騰 波 江	上 妻	総 上	豊 加 美	高 道 祖	宗 道	大 形	蚕 飼	そ の 他	計
水 稲	9	21	8	32 (1)	21 (1)	33 (2)	15	49	8	15 (1)	1 (1)	212 (6)
果 樹	0	10	10	29	0	1	0	0	0	0	0	50
施 設	0	2	0	5 (2)	1	3	0	3	15	0	1	30 (2)
畜 産	2	2 (1)	7 (2)	8 (2)	2 (1)	2 (1)	1	2	1 (1)	0	0	27 (8)
合 計	11	35 (1)	25 (2)	74 (5)	24 (2)	39 (3)	16	54	24 (1)	15 (1)	2 (1)	319 (16)

農業後継者、家族経営協定数

農 業 後 継 者 (人)			家 族 経 営 協 定 (組)
男	女	計	34 H28.11.1 現在
455	36	491	

資料：2015年 農林業センサス



無人ヘリコプターによる小麦の赤カビ防除作業